

均等待遇アクション21 京都例会7・12

アジアの女性労働の現状と、運動の展望



夏になりました。みなさまいかがお過ごしでしょうか？

さて、7月の均等京都例会は、現在香港から来日されているメイベル（區 美寶・Au Mei Po Mabel）さんをお招きしました。

メイベルさんは、アジア各国で多数の活動に携わってきましたが、01年から03年は、CAW（Committee for Asian Women）のコーディネーターとしてバンコクに配置され3年間勤めました。05年は、香港WTO民間監察連盟のコーディネーターとして活動してきました。

今回の来日に際して、カンボジアの衣料関係およびセックスワーカーの女性ユニオンの活動ビデオも持参とのことですので、アジアの女性労働者の現状と労働教育などを中心に話して頂く予定です。めったに聞けない貴重なお話を通訳込みで約1時間、その後、メイベルさん

から日本の労働条件について参加型の

リサーチをしてもらい、みんなで意見交換しましょう。

経済のグローバル化は全世界を覆いつくしていますが、とりわけアジア、アフリカ、中南米の貧しい国をより貧しく、欧米やアメリカ、日本など一部の豊かな国をより豊かにという格差の拡大が急速に進んでいます。厳しい現状の中で、私たちが均等待遇を獲得するに当たって、アジアの女性たちとの共闘は大切な視点です。韓国をはじめ、アジアの女性たちは画期的な運動を展開しています。アジアの労働問題に詳しいメイベルさんのお話と全体の意見交換で、グローバル化に対抗できるような運動の展望を見出しましょう。

ぜひ多数のご参加をよろしくお願いします。

とき

7月12日 (水)
18:30~

ところ

キャンパス・京都

均等待遇アクション21 京都 Tel. 0774-43-8734、<http://www.geocities.jp/joseinetjp/index.htm>